

第1回理事予定者会議 議事録

一般社団法人 尾道青年会議所

2020年度 第1回理事予定者会議議事録

日時：2019年 9月 4日（水） 19：00～

場所：グリーンヒルホテル尾道

（出席者）

加度 亮平、山北 真也、川崎 耕平、中谷 純也、今岡 正英、政成 啓行、大西 貴明、
岡本 大輔、池田 知和、沼田 剛志、岡田 貴臣、小川 直紀、大本 誠、高橋 洋樹、
大前 慶倫、高山 敦好、小林 暢玄、山本 圭介、岡田 健吾、高橋 建太、中司 昌克、
藤田 祐輔、吉田 嵩正、大池 慎三

（欠席）

なし

（遅刻）

なし

（早退）

なし

1. 開会
2. 点鐘
3. JCI クリード唱和 岡本 大輔
4. JCI ミッション並びに JCI ビジョン唱和 沼田 剛志
5. J C 宣言文朗読並びに綱領唱和 小川 直紀
6. 出席者の確認 : 藤田祐輔理事セクレタリー予定者より
理事予定者 20名 直前理事長予定者 1名 監事予定者 2名
セクレタリー予定者 1名
7. 配布資料の確認 : 高橋専務理事予定者より
第1回理事予定者会議資料 1部
8. 議事録署名人並びに議事録作成者の指名 : 加度理事長予定者より
議事録署名人 : 川崎監事 中谷監事
議事録作成 : 事務局

9. 議題の確認 : 高橋専務理事予定者より

(審議事項)

第1号議案 一般社団法人 尾道青年会議所 2020年度 理事会構成図(案)に関する件

(協議事項)

第1号議案 一般社団法人 尾道青年会議所 2020年度 所管業務(案)について

10. 理事長予定者挨拶

(加度 亮平)

皆さん、お疲れ様です。まずは2020年度第1回理事予定者会議にご参加いただきありがとうございます。本日の理事会の議案数は少ないですが、2020年度の方針と尾道青年会議所の中心人物となる理事の皆さんの配属先が正式に決定される大事な会です。長時間にならないとは思いますが、重要な会だということを認識していただき、会に臨んでいただければと思います。早速ではありますが、2020年度理事長所信についてお話ししたいと思います。所信自体は資料に記載の通りなので、各自でよく読んで内容を理解していただきたいと思います。本日は何故この所信にしたのか、どういう思いでこの所信にした理由を話させていただきます。所信は「素にして上質」としています。素直の素とかいて「そ」と読みます。実はこの「素にして上質」は私の会社の経営理念でもあります。私が最も大切にしている考えです。では、素にして上質とはどういう考え方かという、樹木に例えると分かりやすいと思います。木がしっかり育ち、実を实らせるためには、枝葉がしっかりないといけません。枝葉がしっかり育つためには、それを支える幹がしっかりしていないと枝葉が育ちません。幹もしっかり育つためには、しっかりした根を張る必要があります。その根もしっかり育つためには土壌がしっかりしていないといけません。どれか一つでもかけては駄目だということです。青年会議所の活動においても、どの委員会もかけてはいけません。メンバーもしかりです。一人一人の底上げをすることが、活動においても、まちづくりにおいても、人づくりに追いても必ず必要になる事です。では、その底上げをするには何をしなければならぬのかを考えなければなりません。私たちは青年会議所会員である前に青年経済人です。地域の未来を語る前に、我が社の明日がしっかり描けているのか？その前にしっかり親孝行しているのか？一番身近にいる子ども達に「この家に生まれてよかった」と言ってもらえるように自身の背中をかたっているのか？まちづくりを語る前にまずは自分を律することから始めなければなりません。これらの当たり前のことをどれだけ本気で考え、行動できるか、この部分を底上げすることが、尾道青年会議所にしか出来ないまちづくりであると私は考えます。先日の新理事研修において本多先輩が理事としての在り方や理事会についての考え方などをご講演頂きましたが、まさに本多先輩の言う通り、理事会は会の方針の決定がされる場で、その議決権をもつ皆さんには大きな責任があります。理事をやる、と自身が決定し、メンバーから選任された以上、プライドと意地をしっかり持って、1年4ヶ月やり通していただきたい

と思います。決して楽な事ではありませんが、多くの先輩方が「委員長はやった方がいい。勉強になる」と言われています。私もそのように思っています。たくさん事業の事、委員会のことを考え、いろんな人と「こういう事業がしたい。」ということたくさん口に出してみてください。そうすれば必ずいい事業が作れて行くと思いますし、一生懸命やっている委員長の姿をメンバーは見ているものです。必然と出席率も向上していくと思います。私もこれから1年4ヶ月、経験したことのない事にたくさん挑戦していく事になると思います。私もみなさん同様に、分からないことだらけで、多くの失敗をするかもしれませんが、みなさんの長として、所信の「素にして上質」の考え方のもと、一生懸命活動していこうと思っています。皆さんも是非ご協力お願いいたします。それでは、本日記念すべき第一回理事予定者会議の理事長予定者挨拶及び所信の説明に変えさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

11. 直前理事長予定者挨拶

(山北 真也)

皆さんこんばんは。まずは加度理事長、記念すべき第1回の理事会が全員出席のもと開催されること、誠におめでとうございます。これから1年4ヶ月、我々のリーダーとして、精一杯頑張ってもらいたいと思います。そして理事の皆さん、本日は第1回理事会ということで、新任の理事の皆さんは、不安もあるでしょうし、これから色々頑張らなければならないという思いが沢山あると思いますので、皆さんに関しては、とにかく自分らしさを持って頑張ってもらいたいと思います。重任の理事の皆さんに、今日は一言、言いたいと思います。恐らく、副委員長という職に就かれると思いますが、この尾道青年会議所で私が1年間理事長職を務めさせて頂いて、やはりメンバーの末端までは私の声は届きにくいです。その時に委員会単位で、どれだけ方向性をまとめられるか、どうやって盛り上げるかというのはすごく重要なことで、その役目を担えるのはもちろん委員長が一番手であると思いますが、重任の理事の皆さんは委員長経験者であるので、自分が委員長を務めていた時のことと思うと精一杯で、そこまで頭が回らないことが多々あったと思います。そんな時に、重任の副委員長として配属されていることが、自分の経験を踏まえた上で、どうやって委員会運営をやっているのか、どうやって自分が事業構築に携わっていくのか等をしっかり考えて頂いて、その人たちの出来次第で委員会が盛り上がるか、盛り上がらないかが決まる、重要なポジションだと思います。近年副委員長になると、委員長明けで休みの年だと思われがちですが、実は副委員長が一番大事だということを、しっかりと考えてこれからの1年4ヶ月を進んでいって頂きたいと思います。そして、副理事長予定者の皆さんは、委員長、副委員長が、自分が思っている委員長、副委員長の仕事ができているのかということ、しっかりと見て上げる。それを怠ると、結局出来ているのか、出来ていないのかわからない状態になってしまうと思いますので、そこは経験のある方が副理事長をされるわけですので、しっかりとやってほしいと思います。これ

が、この1年私が1年間理事長職を務めさせて頂いて、やはりそういった役割を与えられていることがあるので、役割をしっかりと全うして欲しいと思います。これから1年4ヶ月、加度理事長の元で活動していく上で、そういうことをしっかりと受け継いでいってほしいと切に願っておりますので、今日は第1回理事会ということで、加度理事長に直接意見が言える、2回しかない内の貴重な会ですので、是非しっかりと自分の意見を言って、それを委員会メンバーに落とし込めるように、して頂きたいと思います。以上で、簡単ではないですが、直前理事長挨拶とさせて頂きます。本日もよろしくお願い致します。

12. 理事長予定者報告

資料にて確認

13. 審議事項

第1号議案 一般社団法人 尾道青年会議所 2020年度 理事会構成図（案）に関する件
（加 度） それでは審議事項に入ります。

第1号議案 一般社団法人尾道青年会議所 2020年度理事会構成図（案）に関する件ですが、資料の2-1に記載しておりますので、ご確認下さい。

※第1号議案 全会一致で承認可決

14. 協議事項

（加 度） それでは協議事項に入ります。

第1号議案 一般社団法人尾道青年会議所 2020年度所管業務（案）についてですが、資料の3-1に記載しております。所管業務に関することを説明させて頂きます。2020年度は例年と違いまして3室となっております。各3室に2委員会、合計6委員会で構成させて頂いております。理由と致しましては、1つはやはり会員の減少がありますし、出席率の低い方が多いというところで、これを例年通り4室に分けた時に、非常に組織として弱いのではないかと判断をさせて頂きまして、3室に集中するやり方を取らせて頂いております。それでは、質問に移りますが室ごとにして頂きたいと思います。まず、人が育む経済活性化室から順次お願い致します。

（岡 本） 委員会名が真のしあわせを知る経営者育成委員会ということで、「真の」幸せという言葉を付けた理由を教えてくださいたいと思います。

（加 度） 幸せとは、人それぞれ感じ方、大きさは違うと思いますが、売り上げであったり、利益であったり、人材育成であったり、人によって幸せの定義、いい経営者の定義とは違うと思います。ただ、人によって違うとは思いますが、それを紐解いて、突き詰めていくと、おそらく共通の場所に行き着くのではないかと、考えております。真のしあわせを知る経営者育成委員会は私が委員長の際に担当した事業でありまして、その経験から私自身が考える「真の」幸せとは、自分自身が成長し続けることだと考えて

第1回理事予定者会議 議事録

おります。売上などはあくまで大前提であって、自分自身がどう成長できるか、その時点で自分はいい経営者だと思うことは、私は不幸だと思っており、それを常に感じられる経営者というのが、私が考える真のしあわせを知る経営者だと思っておりません。

(岡本) 成長とは、スキル面の成長、又は心の内面的な成長なのか、どちらの成長を思い描いているが、教えていただきたいと思います。

(加度) まず、スキル面は大前提ですし、心の内面的な成長も大前提だと考えております。今自分達が思っていることが成長だということではなく、自分たちが気付いてないような事をどんどん気付いていけるような事が成長だと思っております。

(沼田) 豊かな人材育成委員会事業の調査・研究・実践での対象者は現役世代でよろしかったでしょうか。

(加度) 仰る通りです。

(沼田) 浴衣会はOBの方との交流を図る事業目的として、事業計画をしてよろしいでしょうか。

(加度) 浴衣会はOBの方を招待したいと思っております。目的は、OBの方との交流ではありませんが、私たちが知らない事を聞くのはいい経験になると考えておりますし、そういった機会を作っていければいいと思います。何年も続いている青年会議所を作ったのは、OBの諸先輩方ですので、そちらへの感謝は重要だと考えております。現役世代の成長を見せることが、1つの感謝の形ではないかと考えております。

(小川) 新年宴会につきまして、加度理事長からの要望はございますか。

(加度) 新年宴会は、所信の通り「素にして上質」な新年宴会を作りたいと思います。イメージは、ギレン・ザビの演説です。

(小川) 設えが、ギレン・ザビの演説ということでよろしかったでしょうか。

(加度) 設えのイメージでお願い致します。

(小川) 防災に関して、4者協定を巻き込む方針でよろしかったでしょうか。

(加度) モデルとなるのが、当時の川原委員長が行った事業で、長い時間をかけてやって頂きたいと思っております。それを浸透させようとするには、学校や教育委員会等をいろいろなところを巻き込んでいく必要がありますし、その為には4者協定を活用する必要があると考えております。

(高橋洋) 会員拡大につきまして、目標人数を教えてください。

(加度) 目標人数は15人とさせて頂きたいと思っております。

(高橋洋) 加度理事長自身の拡大目標人数は何名でしょうか。

(加度) 目標は2名です。

(高橋洋) 各隊活動におきまして、現役会員に望む事があれば教えてください。

(加度) もちろん数も重要ですが、経営者として尊敬できるような人を入会させて頂いた

いと思っております。この人とJC活動、経営の話、お酒の付き合いをしたいと思えるような人を入会させて頂きたいと思っております。

(高山) 2020年活動指針の策定について、2010年の活動指針に対してどれくらい達成できたのかということに関して、加度理事長の思いは如何でしょうか。

(加度) 「イノベーションを起こせ」に関して、組織は変化をしていると思っておりますので、達成をしているかと言われると、一部は達成できていると思っております。昔より会が良くなった事もありますし、悪くなった事もあると思っております。ただ、変化をする大切さを伝えてくれたのではないかと考えております。残念だと思っていることは、2010年の活動指針を知っている人が少ないと思っておりますので、知って頂き共有していくことが大事ではないかと考えております。

(高山) SDG'sという部分で、尾道青年会議所としての取り組みは考えているのでしょうか。

(加度) 考え方の根底には置く必要はあると思っております。形として議案文に入れたほうがいいのか等、考えておりましたが、2020年度は議案文の変更等は、やらない方向で考えております。ポスター等でSDG'sを広める又は取り組みをやっているロゴ等を入れる等の形で取り組もうと考えております。

(高山) 夏期講習についてですが、親睦を深める意味で、内容は座学、スポーツ系等の考えがあれば教えて頂きたいと思っております。

(加度) 個人的には座学が希望ですが、運動でも会員の為になるような事をやって頂きたいと思っておりますし、記憶に残る夏期講習にして頂きたいと思っております。私が記憶に残っているのは、大山登山です。

(山本) 広報の手法の現代的な手法について、具体的な方法、考えがあれば教えて頂きたいと思っております。

(加度) コンプライアンス等色々な問題が出てくると思うのですが、私が一番やりたいのは、web広告です。もちろんポスターやチラシを作ることも大切だと思うのですがその手法がどれだけ集客に繋がっているか。それなりの効果はあると思うのですが費用対効果があっているのかと考えるとweb広告を活用できたほうがいいのではないかと考えております。Face book等のページもありますが、その活用法にしても写真やリンク先だけでなくもっと動画を入れたりする事がより効果が高いとも世間一般に言われている事なので、その辺りを大事にしていった方がいいのではないかと考えております。

(山本) 総務広報委員会として例会の事業はどういった例会がよろしいでしょうか。

(加度) 指定はしませんが、イメージは集客方法等の例会をやって頂ければと思っております。

15. 報告依頼事項

(高橋建) 本日はございません。

16. 連絡事項

(中 司) 初理事の皆様は今年度の理事会にオブザーバーとして出席をお願いします。

10月8日と11月6日の19時から国際ホテルでそれぞれ本年度の理事会がありますので、予定を調整していただき、出席をお願いします。続いて9月25日に室合同委員会がありますが、その後の2次会の場所を決めて、私まで報告をお願いします。なお案内文書は第2回理事予定者会議の後に発信します。理事の皆様と監事の方は登記をしないといけないので、次回の理事会に認印と住民票の控えをお持ちください。最後に明日、2020年度の帳票を理事の皆様にもメールでお送りします。上程の仕方や必要書類が入っていますのでご確認をお願い致します。

17. 監事予定者講評

(川 崎) 皆さんこんばんは。2020年度監事予定者の川崎で御座います。1年4ヶ月よろしくをお願い致します。まずは第1回目の理事予定者会議がこの様に100%の出席ができたこと、少し時間が早かったと思いますので質問も少なかったと思うのですが、それでも100%の出席が出来た事が素晴らしいかと思っておりますし、この勢いそのまま1年4ヶ月続けられると思っております。監事として、我々も初めての講評であるのですが、この1年4ヶ月理事会を行う上で1つだけ皆さんにお願いしたいことが御座います。私も過去理事会に何回も参加させて頂いたのですが、理事会としてのあり方と言いますか、ここにいらっしゃる20名の理事の方々が議決権を持って理事会で意見を述べる事ができる事なのですが、このJCというのはどちらかというと、お金を出すのは、メンバーの皆様とOBの方々の収入を得て、こういった事業や活動ができることです。会社とは違って出資者というのは、それぞれメンバーやOBの方々なのですが、その代表として理事の20名が答弁できることです。そういった意味では、昨今の色々な事業や例会の出席率が低いということがありますが、その低い理由は、先日の合同委員会でも話させて頂きましたが、ここにいらっしゃる20名の理事の皆様の責任でも御座います。面白くない、又は中途半端なものであればこの理事会で、どんどん言い方が悪いですが排除して頂きたいですし、中途半端なやつ仕事な事業というものはやって頂きたくないと思います。それだけの覚悟を持って、理事会を経て皆様が承認したものというものは、皆様が責任を持って委員会メンバーを連れて事業、例会に参加させて頂きたいと思っております。そちらの点は何卒よろしくをお願い致します。又、本日は2020年の加度理事長予定者の所信が出ました。これも時間を掛けられて考えられた所信を記載されたと思うのですが、先程冒頭にも言いましたが、少しその中において、皆様も初めて目を通されたと思うのですが、もっと議論や自分たちの思いがこうじゃないか、こういう風にしたい方がいいのではないかと等多くの質問があってもいいのではないかと考えております。あと1回しか理事長に直接意見が述べられる場がありませんので、この理事長所信をもっと熟読して頂いて、よく委員長は何をやってもいいと言われるのですが、それは所信に基づいて

第1回理事予定者会議 議事録

やっといういいということなので、所信とは全く別のものをやっといういいという訳ではないと思います。それを踏まえた上で副委員長はフォローをして頂きながら第2回目の理事会が盛り上がりだと思っておりますので、何卒よろしくお願い致します。以上をもちまして、簡単では御座いますが監事予定者講評とさせていただきます。

- (中 谷) 皆さんこんばんは。2020年度監事予定者の中谷で御座います。まずは、加度理事長本日は100%出席で大変おめでとうございます。そして理事の皆様には私から一言お伝えしたいと思います。予定者段階で考えることがすごく大切だと聞かれると思うのですが、理事長の所信の結びにも記載されておりますが、未来を描き、創造し、行動することで、未来が創られていきます。この言葉は正に予定者段階で、理事長の所信をよく読んで、それを想像してどういった事業をやっていくか、ということ自分なりにかみ砕いて、そして副委員長と相談し、委員長と副委員長が同じ想像が出来るような事業を考えて頂きたいと思っております。それが、皆様も初めて目を通されたと思うのですが次回の理事会が9月13日ですので、時間は短いですがよくこの所信を読んで頂いて想像して、副委員長ともよく話をして、次回の理事会は理事長に直接質問できる最後の機会ですので、皆様ももう少し具体的な質問が出来るように、この1週間よく考えて頂ければと思います。以上で簡単では御座いますが、監事予定者講評とさせていただきます。本日はお疲れ様でした。

18. 次回開催日の確認

(高橋建) 9月13日(金) 19:00～ グリーンヒルホテル尾道にて。

19. 閉会

20. 点鐘

第1回理事予定者会議 議事録

議長 加 度 亮 平 印

署名人 川 崎 耕 平 印

署名人 中 谷 純 也 印

作成者 藤 田 祐 輔